



津山市立河辺小学校

教育目標

「自ら学び 生き生きと表現する 心豊かな子どもを育てる」

よく頑張った 学習発表会&研究演奏会

十一月七日(土)、たくさんの方の保護者や地域の方においでいただき、学習発表会を行いました。今年、二年ぶりの体育館での発表会でしたので、子どもたちは、後ろまで届く声を出そうと、張り切って練習しました。また、保護者の方に少しでも前で見ていただこうと、前後半で子どもを入れ替えました。子どもたちの声はしっかり届いたでしょうか。

全校合唱では、子どもたちの顔を見てもらえるように、ひな壇やステージをいっぱい使って歌いました。おかげで、子どもたちのきれいな歌声を、会場いっぱい響かせることができました。みなさんの温かい拍手もうれしかったです。一年生は、入学してからの成長を、みんなで協力して楽しく発表できました。二年生は、愉快な「かさじぞう」の劇で、会場をどっとわかれました。三年生は、リコーダーを上手に演奏し、しっかりと声でエルマーの冒険を発表しました。

四年生は、全員が大きな声と動きで、都道府県を紹介できました。また、クイーンの名曲を見事に演奏し、津山市音楽研究演奏会でも、ベルフォーレの舞台上で堂々と発表できました。五年生の合奏レモンは、休み時間も練習して完成させました。合奏の歌声も、とても透き通った声です。

最後に登場した六年生のメッセージは、みんなの決意表明です。迫力ある「君の瞳に恋してる」の合奏とともにしっかりと心に届きました。卒業までの活躍が期待できます。

大きな舞台での発表は、子どもたちをひと回り成長させてくれます。この発表会を自信に変えて、二学期のゴールに向かいたいと思います。



腹が立ったら「6秒」待つ！

稲田尚久先生のアンガーマネージメント人権講演会

アンガーマネージメントとは、怒ることをコントロールすることです。稲田先生は、親子関係をはじめ、周りの人とどうしたらうまく付き合えるかを、楽しく教えてくださいました。6年生も一緒に話が聞けました。講演のポイントを紹介します。

- ◎ 怒りは、6秒たつとぐっと減る。6秒間は、
 - ・手のひらに指で字を書く
 - ・胸をやさしくとんとんする
 - ・深呼吸する などして過ごしましょう。
- ◎ 子どもの短所を長所に見よう。
 - ・怒りっぽい → 表情が豊か
 - ・落ち着きがない → 行動力がある
 - ・いいかげん → 心が広い
- ◎ 「～すべき」を考えよう。例:きちんとすべき。
 - ・「これぐらいなら、まあまあ許せる」の幅を広げる。
 - ・子どもへの「要求水準」を下げてみる。



- ◎ 「ありがとう」の一言をかけるだけで、ぐっと変わる。
 - ・ふわふわ言葉で、心のコップを満たそう。

苦手な給食でも、残しません！

先日、子どもたちにこんなアンケートをお願いしました。

給食で、嫌いなものが出たときは、どうしますか。」

すると、いろいろな食べ方で、残さないようにしていることがわかりました。いくつか紹介します。

- お汁や牛乳についじょに、流し込む。
- ご飯や好きなおかずについじょに食べる。
- 嫌いなものから、時間を決めて先に食べる。
- 鼻をつまんで、息を止めて食べる。
- がまんして、気合を入れて、一気に食べる。

どうですか。子どもたちは、好き嫌いを乗り越えようと、頑張っています。おうちでもしっかりと食べさせてあげてください。



12月・1月行事予定

- 2日(月)全校朝の会
- 3日(火)委員会
- 4日(水)意見発表会 SC MK 掃除
- 5日(木)集金日 木黙掃除
- 6日(金)集金日 読み聞かせ
- 社会見学 3年 (マルイ・消防署)
- 4年 (消防署)

- 7日(土) 三世代ふれあい工作
- 9日(月)ALT
- 10日(火)登校指導 ALT クラブ
- 学校評議員会
- 11日(水)SC
- 12日(木)木黙掃除
- 13日(金)読み聞かせ
- 18日(水)SC MK 掃除
- 19日(木)短縮4校時

- 20日(金)給食最終日 短縮4校時
- 23日(月)大掃除 短縮3校時
- 24日(火)終業式 地区児童会 短縮3校時
- 25日(水)～1月6日(月) 冬休み
- [3学期]
- 1月7日(火)始業式 短縮3校時
- 8日(水)給食開始 短縮4校時
- 9日(木)短縮4校時
- 15日(水)津山東中ブロック人研 短縮4校時

朝の登校は、①「進んであいさつする」②「道路の右側を並んで歩く」③「最後まで列で歩く」を徹底しましょう。

毎朝、子どもたちの登下校を見守ってくださっているボランティアの方から、登校の様子をお聞きしました。うれしいこととでは、あいさつしてくれる子どもが、年々増えているそうです。また高学年の班長が、下級生にしっかりと声かけをする班は、よく並んでいるということでした。しかし、道路に広がったり、通学班がばらばらになってしまう場面もあり、声をかけてもなかなか聞いてもらえないということでした。狭い道でも自動車が通り、並んでいないとぶつかる危険性もあります。学校でも、通学路に出て指導もしていきます。保護者の方も、時折通学の様子を見ていただければと思います。登下校の安全を、学校と家庭で進めましょう。